

---

# 偽物

見川ピース

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

偽物

### 【Nコード】

N9994G

### 【作者名】

見川ピース

### 【あらすじ】

ある人が、「自分を誰も知らない場所にいけば、人生も自分も変わり、きつとよいほうに進む」と言っていた。

お酒を飲んでいるとき、誰だかは忘れたが、ある人が、

「自分を誰も知らない場所にいけば、人生も自分も変わり、きつとよいほうに進む」と言っていた。そのときは僕もその意見を聞き、同感したし、機会があればやってみようと思っていた。

実際それはそのまま大学を選ぶきっかけになり、僕は、僕のことを誰も知らない町に住みはじめることとなった。

新しい町では、自分の知らないことをいろいろ経験したり、友達も数は少ないが、何人かできた。

大学生活も確かにいろいろあつて楽しかったが、楽しんでいるときでも、つい遠くの方を見つめてどれもこれも偽物なのではと思つてしまう。考えるきっかけとなつたのは、僕が小学校の頃のことであり、死んだクラスメートの葬式からだつた。

僕は小学生の時、ほとんど目立たない生徒で授業中でも休み時間でも、ノートに迷路をずっと書いていた。周りから見れば変な子だつたと思うし、だからこそいつも僕は一人だつた。でも僕自身はずっと続く迷路の道を書くことが好きで、その時は周りのことなど、正直どうでもよかった。

その日も僕はずっと迷路を書いていて、昼休みの時も迷路を書くうとしていたときに、声をいきなりかけられた。僕の名前を呼ぶほうを見るとクラスメートが立っていたが、僕自身はそれが誰だつたかはわからず、ただクラスメートだということは、うる覚えで覚えていた。そのクラスメートは僕の隣に座つて、

「一緒に迷路書いていいかな？」と聞き、僕が頷くとノートの反対側から迷路を黙々と書きはじめた。僕もそれを見るとそのまま迷路を書きはじめた。それからは何も喋らず、昼休みが終わるまで、その作業を続けた。

ただ昼休みが終わつて、彼が自分の席に戻る前に僕の名前を言っ

てから、何か話そうとしたが、躊躇して、

「やっぱり明日話すよ」と意味ありげな顔をして戻っていった。

その日の残りの授業は何をそのクラスメートが話すつもりだったか気になりはしたが、やはり僕はいつもように迷路を書いていた。

その日の夜9時過ぎに連絡網でクラスメートの松下君が家に帰る途中で、車に轢かれて死んでしまったことを涙目の母親から聞いた。

僕は正直、松下君が誰だったか、どんな顔だったかが思い出せなかったし、なぜ母親が知らないであろう松下君のことについての死を聞いて、涙目なのかも、わからなかった。次の日学校に行くとクラスはざわざわしてたり、女の子の何人かは泣いていた。先生が遅れて来て、

「皆さんに悲しいお話があります」と松下君の死についてや、松下君との思い出を話してくれた。その時先生が持っていた写真を見て、はじめて松下君が昨日僕に話しかけてくれた人だとわかった。

それからの何日かは断片的記憶しかなく、松下君の葬式にクラスのみなどと出たこと、葬式中、松下君のお母さんが泣きながらずっと下を向いていたこと、多くの人が泣いていたことを覚えている。

それから何ヶ月かすると、クラスは前のように戻ったし、僕は僕でやっぱり迷路ばかり書いてたし、松下君のことは記憶から消えていた。このことは僕も含めて忘れることは普通のことかもしれないが、やっぱりそれは僕にとっては自分も含めて世界が偽善に見えてしまうようになるきっかけになった。ちなみにあの時、松下君が僕に何を言おうとしたか考えてみたが、僕が思うにきつとみんなから浮いていることを忠告しようと思ったんだろう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9994g/>

---

偽物

2010年12月10日02時43分発行